

外傷サーベイランス懇談会

外傷サーベイランス懇談会では、外傷データの収集・分析、課題の抽出、各対策部会が行っている取り組みの評価、調査結果の活用方法について協議しています。

懇談会の意見は各対策部会の活動へ反映させ、より効果的なセーフコミュニティの取り組みとなるように努めています。

※外傷サーベイランスとは…直訳すると「調査・監視」を意味しますが、セーフコミュニティでは、外傷の情報を入手し、予防していくためのプログラムを指します。

《外傷サーベイランス懇談会》

- ◆収集したデータの分析
- ◆対策部会の取り組みに対する評価、助言、情報提供

【外傷データ】

- ・人口動態統計
- ・救急搬送データ
- ・医療機関受診データ
- ・警察統計
- ・消防年報
- ・SCアンケート調査 など

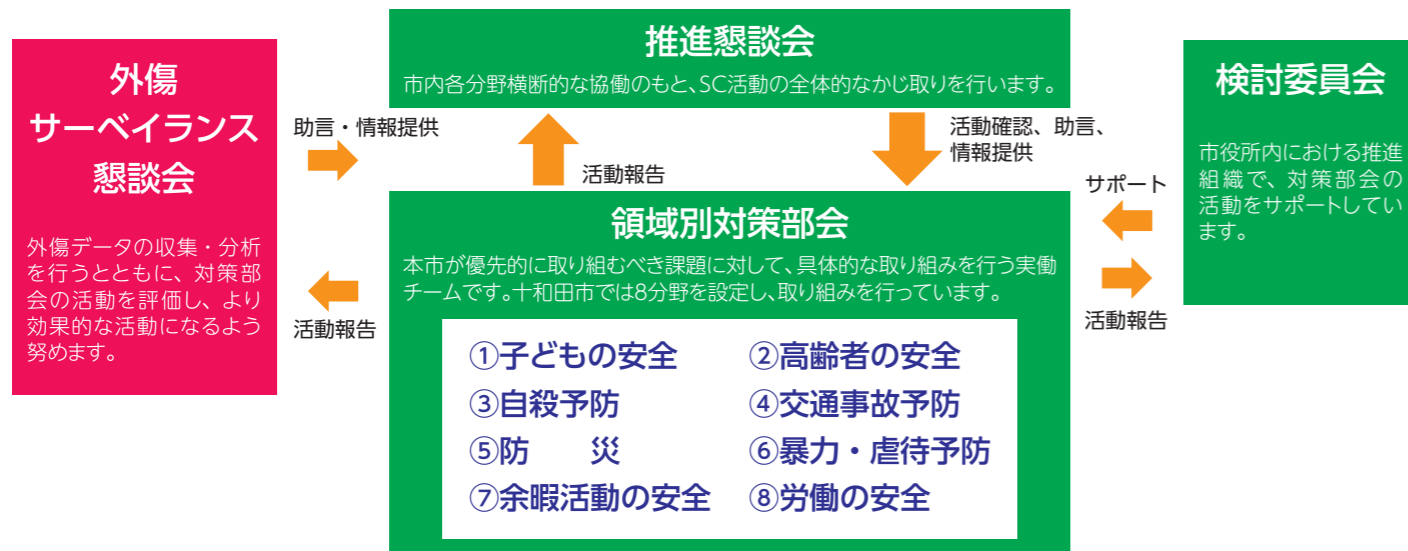
助言・情報提供



各対策部会

※同懇談会は多面的な視点や専門知識が必要となることから、本市においては、病院・消防・保健行政・学識経験者の方々で構成されています。

■ 十和田市のセーフコミュニティ推進体制



◆ 8月は「いのちを守る運動月間」

十和田市では、2012年にセーフコミュニティの認証を初めて取得した8月を「十和田市のいのちを守る運動月間」としています。毎年8月には、セーフコミュニティの理念である事故やけが予防の普及・啓発を図り、安全・安心なまちづくりを推進する“総決起大会”を開催しています。



◆ セーフコミュニティで広がる輪

これまで17の自治体が認証を取得し、そのうち現在でも13の自治体がセーフコミュニティとしての取り組みを継続しています。



今日も無事でいてほしい

十和田市セーフコミュニティ



2020



2009



2015

国際基準に基づく安全・安心なまちづくり

皆さんが普段生活している中で、交通事故や転倒などの事故やけがは、いつでも、誰にでも起こる可能性があります。

「セーフコミュニティ(SC)」は、“事故やけがは予防できる”という考えに基づき、皆さんの事故やけがのデータを集め、分析しながら、地域住民や各種団体、行政が一緒になって予防に取り組む活動のことをいいます。

このセーフコミュニティは、WHO(世界保健機関)が推奨し、国際SC認証センターが認証しています。十和田市は2009年に国内で2番目、世界で159番目に認証されました。



市の重点課題に取り組む～領域別対策部会～

十和田市では、優先的に取り組むべき重点課題として、8つの分野を設定しています。その課題に対し、地域住民・各種団体・行政の方々が集まり、対策を考え、予防につながる取り組みを実践しています。

子どもの安全対策部会

【その他の課題】

- 小学校では休憩時間でのけが多い

課題

乳幼児は自宅(屋内)での転倒、転落などのけが多い



取組

乳幼児を持つ保護者に対し、家庭内での安全意識に関するアンケート調査を実施。その結果をポスターにして保育園や保健センターなどに掲示しています。



アンケート調査の結果を掲示。どんな結果になっているのか興味津々な様子で見ると親子。

高齢者の安全対策部会

【その他の課題】

- 日常生活での転倒、転落によるけが多い
- 高齢化に伴い、高齢者夫婦世帯、単身世帯が増加している

課題

高齢者は不慮の事故のうち、窒息が原因による死亡率が高い

取組

口腔体操が行われているいきいき体操への参加を呼び掛けるとともに、窒息予防のための“あいうべ体操”を記載したチラシを作成しています。このチラシは、高齢者が訪れる施設や各種イベントで配布しています。



チラシの裏面には【その他の課題】への取り組みも記載しています。

自殺予防対策部会

【その他の課題】

- 働き盛りの世代や高齢者の自殺が多い

課題

身近な人が自殺する兆候に気付いていない

取組

自殺を図る人の原因としてうつ病などの精神疾患が多いです。自殺を図る人を減らすためにもストレスへの対処法やうつ病の症状や対処法を多くの人に知ってもらうことが必要と考え、こころの健康講座やゲートキーパー講座などの普及啓発を行っています。



トイレへの掲示を想定したステッカーを2種類作成。学校、公共施設だけでなく、対策部会全体に協力を仰ぎ、広く啓発しています。

交通事故予防対策部会

【その他の課題】

- 交差点での交通事故発生率が約50%と高い

課題

薄暮以降、歩行中の人が交通事故に遭うことが多い(特に高齢者)

取組

交通事故のデータから、薄暮(夕暮れ)以降の高齢者が交通事故に遭うことが多いです。部会では、市交通安全母の会が実施している「高齢者世帯訪問事業」に同行し、反射材の配布や交通事故への注意喚起を行っています。



世帯訪問では、反射材を配布するだけでなく、実際に使用するバッグや靴に貼り付けを行い、交通事故の減少に努めています。

市の重点課題に取り組む～領域別対策部会～

防災部会

【その他の課題】

- 毎年、火災による死傷者が発生している

課題

年々、高齢化が進んでおり、災害が起きた場合の対応に不安がある

取組

災害が発生した場合、一人一人が取り組む「自助」や地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」が重要なことから、部会では防災訓練の開催を呼び掛けるチラシを作成、町内会などに配布しています。



暴力・虐待予防部会

【その他の課題】

- 虐待を発見しても通報、相談しない人が多い

課題

十和田市でも子どもや高齢者、女性に対する虐待が発生している

取組

児童虐待のシンボル“オレンジリボン”や女性に対する暴力根絶運動のシンボル“パープルリボン”を部会員が作成し、各種イベントでチラシとともに配布しながら、虐待やDV防止に関する理解を深めてもらう活動を行っています。



配布用のオレンジリボン・パープルリボンを子どもたちと一緒に作成しました。

余暇活動の安全対策部会

【その他の課題】

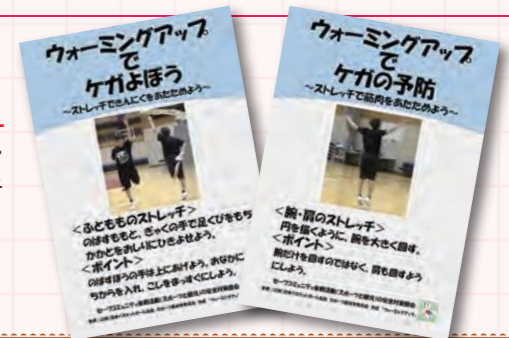
- 外国人観光客とのコミュニケーションに不安が…緊急時の対応は…
- 観光地での観光客による自転車事故が発生している

課題

運動・競技で10代のけが多く、スポーツ施設・学校での発生が多い

取組

運動・競技前のウォーミングアップを促すため、肩・臀部・太腿のストレッチ方法やポイントが書かれたチラシを作成し、市内の小中学校に配布しています。



小学校向けには漢字を使わないなど、“見てわかりやすい”チラシにしました。

労働の安全対策部会

【その他の課題】

- 建設業等の職場内の労働災害は転倒・転落が多い

課題

農作業中のけは60歳以上に多い

取組

農業に従事するかたは、単独で作業することが多く、また、担い手不足により高齢化が進んでいます。そのため、作業が長年の経験に寄ることが多くなり、とすればマンネリ化することから、講習会などを通じて、作業の際は安全確認を行うように呼び掛けています。



部会では、講師を招いて、機械・器具の安全点検が行われているかなどの農作業前の安全確認を実施しました。